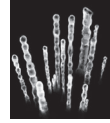


氷筍集



*当月の氷壺集・氷室集
より尾池葉子抄出

陽のいろの上昇気流鷹渡る
露けしやゆつくり落つる鳥の羽根
この町にこの空のあり小鳥来る
台風の手荒き誕生祝ひなり
鶉の贄見つけし今朝の庭掃除
庭下駄のぼつりと置かれ秋深し
軍鶏の勝負決まらず暮早し
千振や亡父の苦り顔がふと
秋薔薇花がら摘みて香に噓せて
遊子ともなれず佇む花野かな
柿喰ひに夜毎来たるは何の鳥
朝市の通草ほどよく割れてあり
論じ合ふ窓の向かうの秋日和
短日の帰宅は淋し独りの居
たれ待つや冬田の畦の白き犬
くまげらの消えたる山のうつろかな
末枯るる木の間に赤き実を見せて

伊藤武敏
高橋キセ子
川内一浩
植田清子
大野千鶴子
田崎セイ子
田中ミヨ子
友永基美子
長瀬朋孝
西村みゑ子
福地義雄
真下章子
南田美恵子
村木道子
三原真紀子
佐々木成
山本京子

長病みの見立て変はらず冬に入る
恙なく終り稲の香ある刈田
長き夜や引越しを待つガムテープ
夜学生をり裸灯の無人駅
倒木に生ゆる茸は見捨てられ
新しき熊の栗棚二つほど
瓢の笛吹く縄文の子のやうに
農道に刈稲並ぶ奥丹後
夜が更くる頃や鞠子のとろろ飯
回覧板に稚児の募集や秋祭
かぐや姫気分の縁や月見酒
朱き実の小さきに秋の移りけり
鈴虫の声のかすれや夜が明くる
この里の風の変はらず吊し柿
稲架に稲掛けて本日終はりとす
やや寒や風にさらされ車椅子
子らよ子らよ秋果は全部あげるから
月明り机に諸手突きて立つ
月光に汐のしみ込む干潟かな
行列を少し離れてゐて小春

吉田多々詩
酒井富子
川内麻美
遠藤長代
渋谷啓子
長浜利子
林清恭
古川邑秋
宮原亜砂美
石原ゆき子
牛田あや美
小川豊子
田中勝
仁田浩
藤本隆子
山中伊蘭子
山本真也
山中ひでの
川上和昭
志多伯節子